

2008

# 地方議員向けサマースクール

## 受講者募集！

地方自治体がいま、厳しい財政状況への対応、少子高齢化や地球環境問題への対応、地域再生、市町村合併後のまちづくりなど多くの課題を抱える中、地方政府を目指す地方分権改革が一層進められようとしています。

これに伴い、地方自治体の役割とその経営はますます重要となり、住民代表としての地方議会、チェック機関としての地方議会の役割もさらに重要になってまいりました。

北海道大学公共政策大学院(HOPS)では、こうした状況を踏まえ、このたび、地方自治の要となる地方議会のさらなる活性化と地方議員の能力向上に資するため、地方議員向けのサマースクールを開講することにいたしました。

地方政治の活性化や地方議会の改革に志を抱く皆様方の積極的なご参加をお待ちしております。

- ◆開催期間：平成20年8月27日（水）～8月29日（金）
- ◆開催場所：北海道大学、夕張市

### <北海道大学公共政策大学院サマースクールの特色>

1. 本院の多彩な研究教員と実務家教員を活用し、地方自治の本質的な問題から議会活動の実務的な問題に至る様々な問題を取り上げます。
2. 北海道らしい政策課題を取り上げます。
3. 実践と理論の架橋を重視する本院の特色を生かし、参加者が自ら考え議論する内容を多く盛り込みます。
4. 具体的事例が実際にどのように実施されているかを把握するため、できる限り現地で事例研究を行う機会を設けます。

## 概 要

- 1 主催 : 北海道大学公共政策大学院
- 2 後援 : 北海道市議会議長会 北海道町村議会議長会
- 3 協力 : 第一法規(株)
- 4 開催期間 : 平成20年8月27日(水)～8月29日(金)  
開催場所 : 北海道大学(札幌市北区北9条西7丁目)、夕張市
- 5 対象・定員 : 地方議会議員及び地方議会議員を志す方。定員20名程度
- 6 受講料 :  
10,000円(宿泊代含まず。食事代等の実費は別途徴収させていただきます。)
- 7 申込方法・期限 :
  - ・ 所定の様式に必要事項を記載し、ファックス又はメールでお申し込み下さい。  
申込先 : FAX : 011-706-4716 E-mail : ss2008@hops.hokudai.ac.jp
  - ・ 申込期限 : 平成20年7月23日(水)
  - ・ 受講の可否を8月1日(金)までにご連絡いたします。応募者多数の場合、志望動機等により選考させていただきます。
  - ・ 申込様式は、北海道大学公共政策大学院 HP から入手することもできます。  
(ホームページ : <http://www.hops.hokudai.ac.jp>)
- 8 宿泊 : 各自、宿泊場所をご手配下さい。
- 9 問い合わせ先 :  
秘書室 : ☎011-706-4716  
又は 公共政策大学院教授 木幡(コハタ) : ☎011-706-4724
- 10 今後の予定 :
  - ・ 地方議員向けサマースクールは、今後継続的に実施する予定です。
  - ・ また、ご要望等に応じ、ウィンタースクール等の開催も検討いたします。

北海道大学公共政策大学院では、社会人の入学にも道をひらいています。

社会人の勤務事情等に応じ、3年又は4年の長期履修が可能です。

卒業後に議員となられた方を含め、これまでに6名の議員が本院で学んでいます。

詳しくは、法学部教務担当までお問い合わせいただくか、または下記ホームページをご覧ください。

(法学部教務担当 : 011-706-3120 / 入試 : <http://www.hops.hokudai.ac.jp/system/system.php>)

<HOPS2008 地方議員向けサマースクールの日程>

月 日	時 間	内 容
8月27日	12:45 ~ 13:15 13:15 ~ 13:40 13:45 ~ 15:15 15:30 ~ 17:30	受付 開講オリエンテーション 【講義】地方分権改革の動向と今後の展望 北海道大学公共政策大学院教授 宮脇 淳 (地方分権改革推進委員会事務局長) 【ゼミ】地方分権改革により地方はどう変わるか? どう変わらなければ ならないか? (注1)
8月28日	9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 14:30 14:45 ~ 16:15 16:30 ~	【講義】 ① 健全化法と今後の財政運営 北海道大学公共政策大学院教授 木幡 浩 ② 自治体財政のチェックポイント~外部監査の視点から 北海道大学公共政策大学院教授 石井 吉春 ③ 三セク、病院等事業整理に関する法制化の行方 北海道大学公共政策大学院教授 宮脇 淳 【講義~政策研究】地球環境問題と自治体行政 北海道大学公共政策大学院教授 吉田 文和 【問題提起】 ① 議会基本条例と議会改革 北海道大学公共政策大学院教授 山崎 幹根 ② 理事者との新たな関係 ~ 実務者の視点から 北海道大学公共政策大学院教授 木幡 浩 【徹底討論】地方政府にふさわしい議会を目指して(注2)
8月29日	8:30 10:00 ~ 12:00 13:00 ~ 15:00 15:00 ~ 15:30	【現地事例研究】夕張再生に向けた取組み (注3) 北大発(バスで移動) ① 夕張市の財政破綻と再生の取組み 夕張市地域再生課長 畑山 栄介 ② 市議会の改革 ~ 市議会はどう変わったか? 夕張市議会議長 加藤 喜和 ③ 市民による夕張再生を目指して ゆうばり再生市民会議運営委員 ④ 自治体病院の再生~夕張医療センターの取組み 夕張医療センター長 村上 智彦 閉講・解散(北大までお送りすることができます)

(注1) 宮脇教授の講義を受け、グループに分かれて地方の変化についてまとめます。次に、全員の前で発表し、議論します。あらかじめ勧告と要綱を読み、地方の変化を考えていただく必要があります。

(注2) 受講者には、あらかじめ、自らの議会の改革の動向と考えについて、簡潔な資料を作成し、お送りいただきます。これらの資料や問題提起を踏まえ、議会改革について徹底討論します。(軽食をとりながら徹底討論します)

(注3) 財政再建団体(健全化法下では再生団体)としての取組みを経験することは稀ですが、夕張再生の取組みは今後の地方自治体の運営に貴重なヒントを与えるものと考えられます。